

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\*堂平観測所のコホーテク彗星 (その5) のシートフィルム 46枚を収蔵**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館焼失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大きな発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回はContact Copy of Comet Kohoutek(1973f)と書かれた乾板の箱(写真1)に入っていた資料である。箱の中にはコンタクトコピーされたシートフィルム46枚の他、堂平観測所の50cmシュミット望遠鏡で撮影したこれらの乾板のリストなどである。



写真 1

アーカイブ室新聞第642号に「堂平観測所のコホーテク彗星(その4)のシートフィルム収蔵」という記事が書いてある。その時にはSB番号1979が4枚、SB1980が3枚、SB1981が3枚、SB1985が2枚、SB1986が2枚、SB1987が3枚の17枚であった。今回はさらにまとまって発見されたシートフィルム46枚である。またアーカイブ室新聞第474号に「堂平観測所のKohoutek彗星(その3)の乾板のレプリカを収蔵(2011年4月21日)」、第471号 Kohoutek彗星(その2)の乾板のレプリカを収蔵(2011年4月19日)、第470号 堂

平観測所 50cm シュミット望遠鏡による Kohohtek 彗星の乾板のレプリカを収蔵 (2011 年 4 月 15 日) という記事があり、コホーテク彗星についての第 5 報の報告となる。発見され次第の記事を書いているが、おそらくコホーテク彗星のシートフィルムの報告はこれが最後であろう。今回のシートフィルムの保存状態も良好とはいえない状態であった。

今回のシートフィルムはネガになっており、今までのポジとは違っている。原版から密着のポジを作成し、またそのポジから密着でネガを作成したものと思われる。

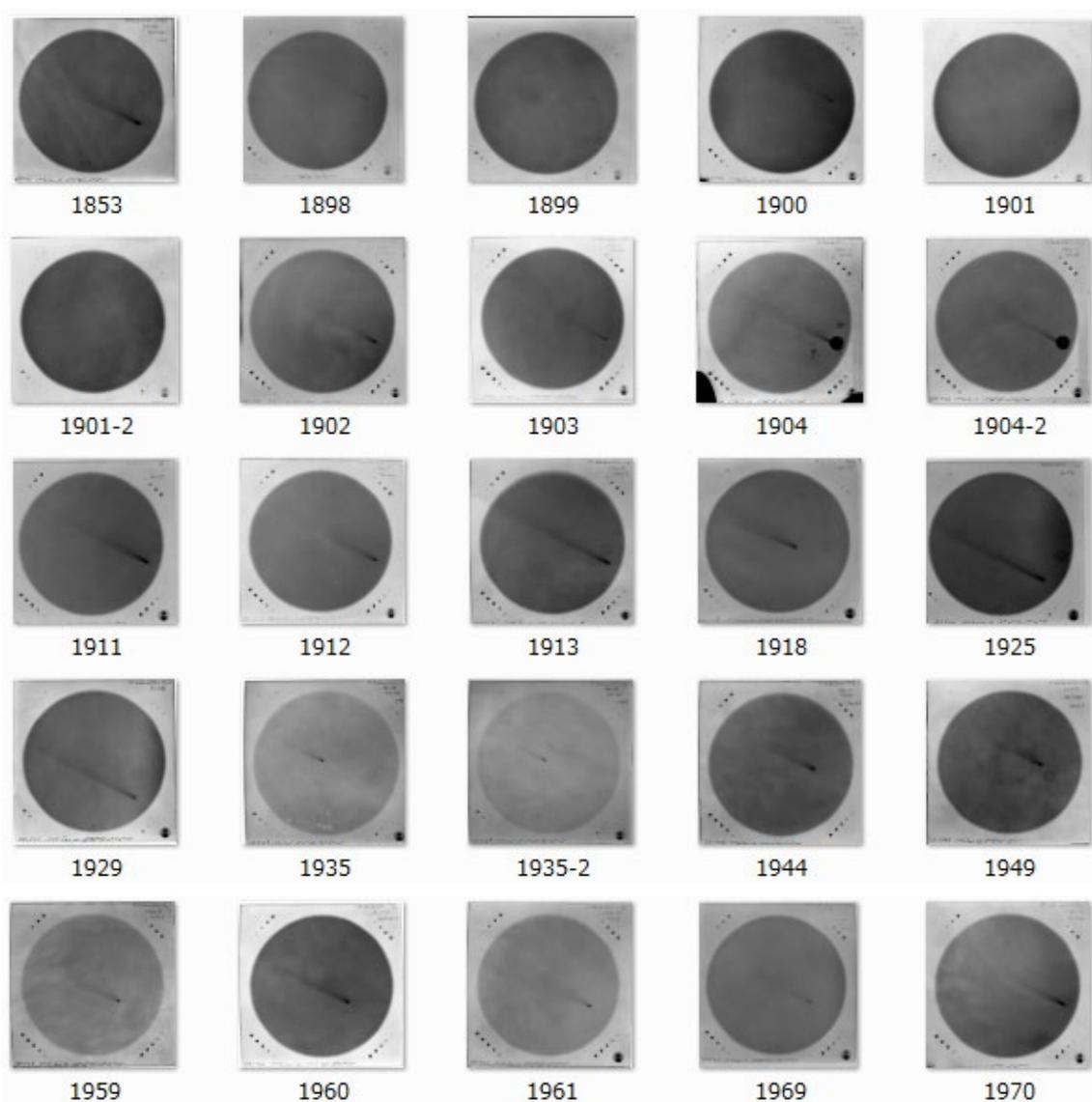
こんな回の箱には、堂平観測所の 50cm シュミット望遠鏡で撮影された乾板の内、SB1754 ~2006 までのリストが同梱されている。このリストを元に今回収蔵のシートフィルムを整理した表が表 1 である。

通番	SB No.	枝番	Date	U.T.	Exp.	Col.	Obs.	$\alpha$	$\delta$
1	1853		19731205	194345	90	Y2	Ks	1402.0	-22.60
2	1898		19740108	84830	60	Y1	Ks	2108.7	-13.10
3	1899		19740108	85330	60	B2	Ks	2108.7	-13.10
4	1900		19740108	90030	60	Y2	Ks	2108.7	-13.10
5	1901								
6	1901	2							
7	1902		19740109	84530	60	Y2	Ks	2121.0	-11.40
8	1903		19740109	85030	60	B2	Ks	2121.0	-11.40
9	1904		19740109	85430	60	Y1	Ks	2121.0	-11.40
10	1904	2	19740109	85430	60	Y1	Ks	2121.0	-11.40
11	1911		19740110	85230	60	Y1	Ks	2134.0	-10.70
12	1912		19740110	85630	60	B2	Ks	2134.0	-10.70
13	1913		19740110	90530	60	B1	Ks	2134.0	-10.70
14	1918		19740111	91227	60	N1	Tm	2139.8	-10.00
15	1925		19740112	91200	120	N1	Tm	2155.0	-8.80
16	1929		19740112	93000	120	N1	Tm	2155.0	-8.80
17	1935		19740113	93130	60	B1	Ng	2158.9	-8.40
18	1935	2	19740113	93130	60	B1	Ng	2158.9	-8.40
19	1944		19740114	91630	60	B1	Sb.Os	2216.5	-7.10
20	1949		19740114	94930	60	N1	Sb.Os	2216.5	-7.10
21	1959		19740116	93430	60	B1	Ks	2238.0	-4.70
22	1960		19740116	93930	180	N1	Ks	2238.0	-4.70
23	1961								
24	1969		19740117	100000	180	N1	Ks	2250.5	-3.40
25	1970								
26	1971		19740118	91830	180	N1	Ks	2302.5	-2.50
27	1975		19740118	94000	60	B1	Ks	2302.5	-2.50
28	1975	2	19740118	94000	60	B1	Ks	2302.5	-2.50
29	1975	3	19740118	94000	60	B1	Ks	2302.5	-2.50
30	1975	4	19740118	94000	60	B1	Ks	2302.5	-2.50
31	1977		19740118	100000	180	N1	Ks	2302.5	-2.50
32	1978		19740118	100430	180	N2	Ks	2302.5	-2.50
33	1979		19740119	91230	60	M1	Ks	2312.0	-1.00

34	1985		19740119	94030	180	N1	Ks	2312.0	-1.00
35	1987		19740120	100330	60	N2	My	2314.6	-1.50
36	1987	2	19740110	90530	60	B1	Ks	2134.0	-10.70
37	1987	3	19740110	90530	60	B1	Ks	2134.0	-10.70
38	1988		19740123	91100	120	N1	Sb	2348.4	1.00
39	1990		19740123	92530	60	B1	Sb	2348.4	1.00
40	1990	2	19740123	92530	60	B1	Sb	2348.4	1.00
41	1990	3	19740123	92530	60	B1	Sb	2348.4	1.00

表1でU.T.は露出時間の中心時刻、Exp.は秒で表した露出時間、Co1.はフィルター、Obs.は観測者で、Ks:香西、Tm:富田、My:宮下、Sb:柴崎、Os:大島の各氏である。

以上41枚のシートフィルムのサムネイルが写真2である。



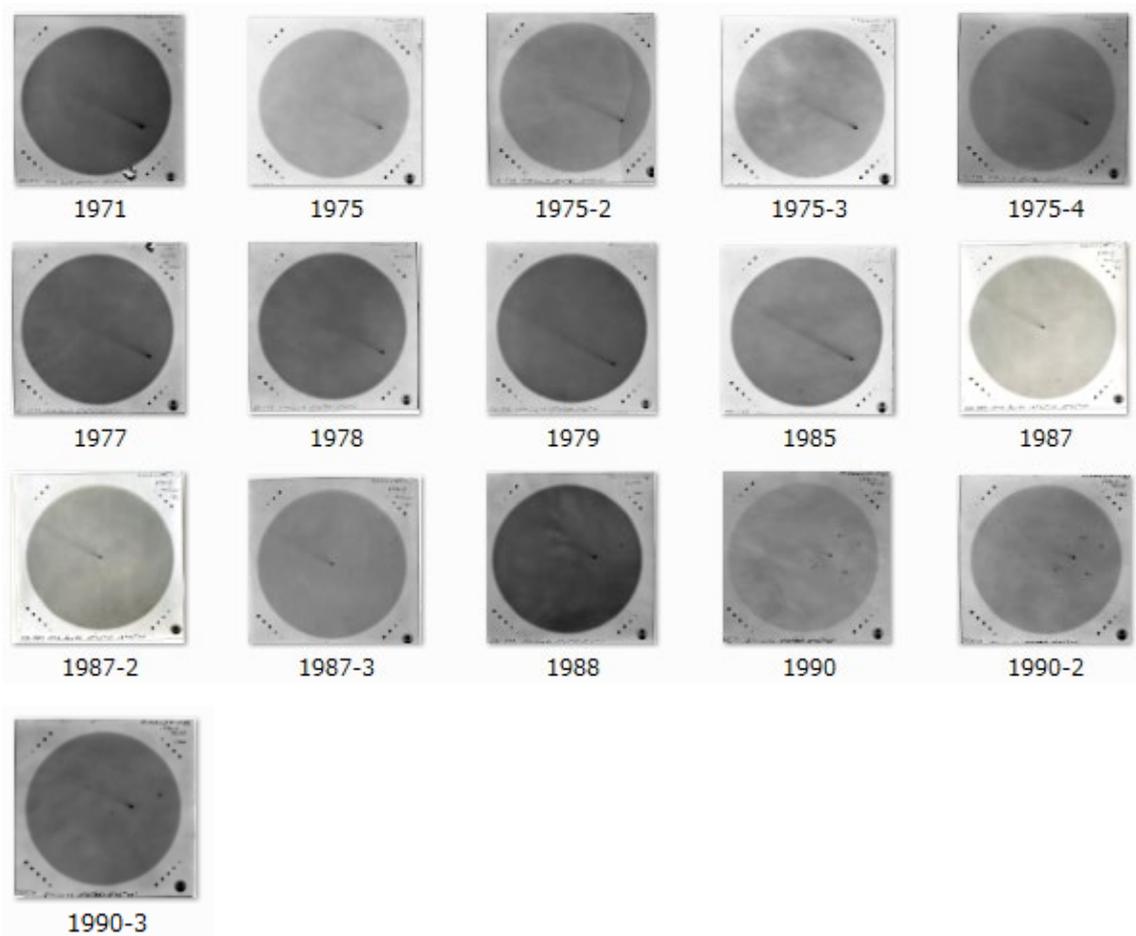


写真 2

この写真 2 中の SB1987、SB1987-2 は印画紙にプリントされたものでシートフィルムではない。また、この箱の中には、SB1904 を印画紙のプリントしたもの 4 枚が入っていた（写真 3）。

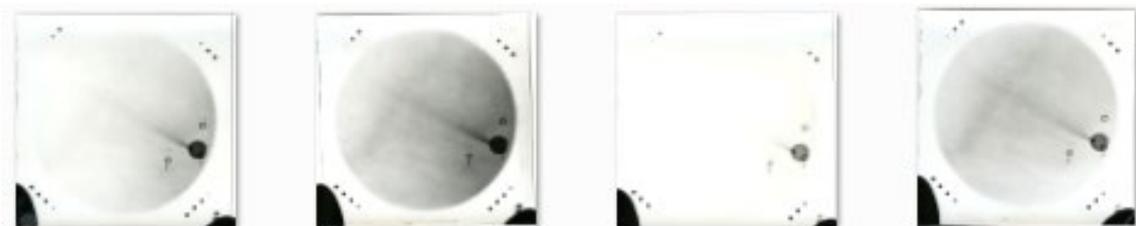


写真 3

さらに、この箱の中には、このシートフィルム作成時のメモ書き 4 枚と、鹿児島宇宙空間観測所のシュミット望遠鏡で撮影したフィルムの 1973 年 11 月 19 日～29 日間の 77 枚分、1974 年 1 月 12 日～24 日間の 128 枚分のリストが同梱されていた。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)